

第6回 運営推進会議 議事録

平成 31 年 3 月 16 日

事業所名	デイサービスセンター「すみよし」			
開催日時	平成 31 年 3 月 15 日 (金) 14 時 30 分 ~ 15 時 30 分			
開催場所	デイサービスセンター「すみよし」併設施設サービス付き高齢者向け住宅「グットハウスすみよし」食堂			
参加者	利用者	1 名	知見を有する者	1 名
	利用者家族	1 名	地域包括支援センター	1 名
	地域住民の代表	1 名	事業所職員	3 名
議題	1 運営状況 2 活動報告 3 質疑応答 4 運営委員からの評価 5 今後の課題			

会 議 録

1 運営状況

利用定員、午前・午後各13名の半日型デイ。一日平均利用者人数、午前9名、午後9名。

利用人数は46名。男性18名、女性28名。平均介護度は2.2。

要支援1:0名／要支援2:3名

要介護1:7名／要介護2:23名／要介護3:10名／要介護4:2名／要介護5:1名

半日型で機能訓練に力を入れ、希望者には入浴・食事提供も行なっている。車いすの利用者も受け入れている。

2 活動報告

- 機能訓練の他、脳トレや手先を使った貼り絵等を作成している。
- 前回の課題である、外出レクも少しずつだが実施している(風土記の丘、甲府駅北口・武田信虎公像)。
- 実習生の受け入れ。昨年10月に甲斐清和高校普通科総合コース福祉クラスの生徒を2名受け入れる。
- 12月に火災を想定した防災訓練を実施。水害を想定した訓練は今年度出来ていないが、今後実施予定。非常災害時の備蓄品は、水2リットルを6ケース。非常食はスパゲッティ等の乾麺を準備。
- 3月に地域密着南エリア連絡会にて防犯研修に参加。不審者が施設に侵入してきた時の対応など、南甲府警察署の職員から指導を受ける。
- 広報誌「グットケアー便り」を3月中旬に利用者全員に配布。3月下旬に山梨日日新聞折込に封入予定。

3 質疑応答

- この建物の耐震性は？
鉄筋コンクリートの平屋建てなので、近隣の住宅よりは耐震性は優れていると思われる。

4 運営委員からの評価

(地域住民の代表)

非常災害時は、自助、共助が大切。水の備蓄は大きいものだと持ち運べないので、2リットルのペットボトルが最適。水が空気に極力触れないように、水をロ一杯に入れてキャップしておけば、約3ヶ月保存可能。3ヶ月経ったら植木の水やり等で消費し、再度備蓄するというサイクルを作ってみてはどうか。

前回の会議でも述べたが、利用者が参加する防災訓練を何度も実施するのは大変なので、職員だけの机上訓練を実施してはどうか(例えば、年4回訓練の内3回は机上訓練を実施する等)。

(利用者)

年を取ると閉じこもりがちになり、なかなか外へ出られない。以前デイで外出したときは、気持ちが救われて、とても楽しかった。機会があればまた外出したい。

(利用者家族)

この立地は、山城学区・伊勢学区の境なので、「子ども110番のいえ」があまり知られないと思う。学校便りなどに載せてもらうようにPRしてみても。子供たちと接する機会があれば、お年寄りも楽しめると思う。地域から見ると、デイ内で何をしているか知られていない。室内で運動するだけでなく、近隣の神社等、空間はいくつもあるので、運動の一環として、外を歩いてデモンストレーションをしてみてもどうか。

(知見を有する者)

半日型で入浴も出来て助かっている。皮膚疾患等の報告もしっかりしてくれる。これからもお願いしたい。

(裏面に続く)

(地域包括支援センター)

利用者から、こうしてほしい等の要望を聞く機会は貴重なことなので、大切にして施設運営に活かしてほしい。「利用者が少ない日だから外出する」ではなく、「3ヶ月後、どこどこへ外出し、そこで歩くのを目標に、普段の運動を頑張る」といった計画に沿った運動を目指してほしい。行きたい場所を、利用者に聞くのも良いのではないかと。

利用時間3時間の中で起きた非常災害に対して、どう対処するか検討してほしい。利用者をどう家族に引き渡すか等、机上訓練を実施し、また報告してほしい。

これからも、利用者の生活の状況、日頃の言動・様子などを見て、その人の考え方に寄り添った支援を引き続き頑張してほしい。

5 今後の課題

- 計画的な外出レクの検討
利用者一人一人目標を設定し、計画的な外出レクを検討・企画する。
- 非常災害対策
非常災害発生を想定した机上訓練の計画・実施。

(その他)

- ・ 今年の水地区の防災訓練は、8月末から11月第2週の日曜日に日程変更。
- ・ 4/7(日)、日吉神社にて水地区のお祭り「町民の集い」。

次回、第7回運営推進会議は、平成31年9月の予定